



令和3年度 ヨコハマ市民まち普請事業

1次コンテストで6提案を選考！

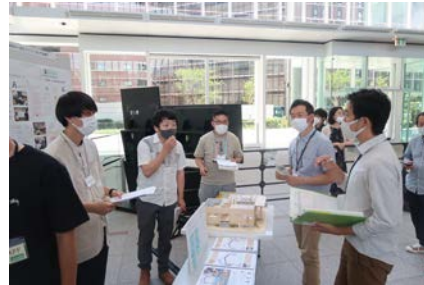
～2次コンテストへ向け発進～

令和3年7月10日(土)に「令和3年度ヨコハマ市民まち普請事業1次コンテスト」を開催し、8名の審査員による公開投票の結果、8グループの整備提案から **2次コンテストへと進む6提案** が選考されました！

選考されたグループは、令和4年2月6日(日)開催予定の2次コンテストに向けて、実現性や地域まちづくりへの発展性等が高まるよう提案内容を磨き上げていきます。



提案グループのプレゼンテーション



情報収集タイム



審査員との質疑応答

2次コンテストへ進む整備提案

【地域で繋がり、楽しむ！多世代・多国籍交流の新拠点】 まちとも 霧が丘(緑区)

団地の空テナントを活用し、多世代、多国籍交流拠点を整備。子ども食堂、日本語・外国語教室、買い物代行などを通じて助け合いのネットワークを創る場に。

【都筑ふれあいの丘「モヤ→キラ」コミュニティカフェ】 地域コミュニティ居場所づくり実行委員会(都筑区)

マンションの共用部に、コミュニティカフェや展示スペース、自由スペースなど、地域の方がふらっと寄れる居場所を整備。多世代交流、自立支援の場に。

【事業支援のためのローカルプラットフォームを構築する】 弘明寺リビングラボ(南区)

弘明寺商店街の近くに、地域の健康相談所、就労支援事業のための商品開発等を行うコワーキングスペース、食育イベントなどを開催するためのスペースを整備。

【新たな事業展開と柔軟な地域交流拠点の整備】 NPO法人史季の郷(鶴見区)

既存の歴史資料室・交流室を拡張し、地産地消カフェや交流サロン、子育て相談所などの多種多様な事業を展開できる拠点を整備。

【八景市場ANNEX—自らつくり, つながる場所】 食卓八景—つながりのリビングをつくる会(金沢区)

空き家を再生しシェアハウスとした建物の共用部をまちに開放。縁側やお庭を整備し、誰もが気軽に立寄り、他者とつながることのできる地域の多世代交流拠点へ。

【イノベーションハブ「つるみ ゆいまー」の創出】 「結(ゆい)」つるみ実行委員会(鶴見区)

おきなわ物産センターなどが入るビルの空き室に、沖縄芸能や南米の文化体験、イベント企画のための集会所、地域の情報発信コーナーを整備。

今後の流れ（予定）

1次コンテストで選考された提案グループは、2次コンテストまでの間に、審査員及び過年度にまち普請事業で施設を整備し活動している先輩グループとの「活動懇談会」等を通じて地域での円滑な合意形成や提案を磨き上げるヒントをもらいながら、提案内容の「**創意工夫・実現性・公共性・費用対効果・地域まちづくりへの発展性**」を高めていきます。

活動懇談会

令和3年9月23日(木・祝)

審査員やまち普請事業の先輩グループと、より良い活動の展開に向けて話し合いを行います。



令和2年度活動懇談会の様子

審査員による 現地確認

令和3年10月30日(土)

審査員が提案内容をより深く理解するために、提案場所の現地を確認します。
提案グループからは活動状況の報告をしていただきます。



令和2年度現地確認の様子

2次提案書の提出

令和3年12月3日(金)

締切

2次コンテスト

令和4年2月6日(日)

検討を重ね磨き上げた提案を発表していただきます。
審査員との質疑応答を経て公開投票により助成対象となる提案が選考されます。

審査基準 ①創意工夫 ②実現性
③公共性 ④費用対効果
⑤地域まちづくりへの発展性

施設整備の実施

2次コンテストで整備助成の対象として選考された提案グループには、令和4年4月～令和5年3月の間に施設の整備を行っていただきます。令和5年度には「整備成果報告会」を予定しています。



令和2年度2次コンテストの様子

参考：ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665